



小川勝章

KATSUAKI OGAWA

作庭家
植治 次期十二代

作庭家
植治 次期十二代

小川 勝章

Katsuaki Ogawa

家業は宝暦年間、侍より庭園の道を志し、帯刀を許される作庭家となった初代に始まる。以来代々は「小川治兵衛(おがわいへえ)」の名を襲名し、屋号を「植治(うえじ)」と称する。

特に7代目は山縣有朋邸(無鄰菴)・平安神宮・円山公園・西園寺公望邸(清風荘)・市田弥一郎邸(對流山荘)・浅見又蔵邸(慶雲館)・古河虎之助邸(現・東京都旧古河庭園)といった国指定名勝庭園等を作庭し、自然風景を尊ぶ作風は、日本庭園に開放的な喜びを取り入れた。現在は11代小川治兵衛が当主を担う。

小川勝章は、1973年に生まれる。幼少期の多くを歴代の手掛けた庭園にて過ごす。

1989年高校入学時より父である11代小川治兵衛に師事し、思春期の多くを庭園掃除にて過ごす。1996年家業に従事しつつ、立命館大学法学部を卒業後、植治における作庭に専念する。新たな作庭に加え、歴代の手掛けた庭園においても、作庭・修景・維持を続ける。特に近年は7代目が最も精魂を注いだとある庭園において、次代へと繋がる取り組みを重ねている。また庭園を身近に感じて頂くべく、実相院門跡において、市民協働での作庭も手掛けている。

御庭植治株式会社 代表取締役
1級造園施工管理技士
京都市 DO YOU KYOTO? 大使 (文化的見地より環境問題に取り組む)

- 京都精華大学、名古屋工業大学、名城大学等において非常勤講師を歴任
- 京都市・ケルン市姉妹都市提携50周年文化使節団として参加、基調講演を行う
- 2011年～2014年、京都新聞紙面にて「技と美の庭園 小川勝章さんと巡る」を連載
- 六本木アートナイト2016等、アートイベントに参加

